今　いのちがあなたを　生きている

春の法要　勤修

四月十六日（日）春の法要を勤修いたしました。春の法要は共同墓地・ペット墓地の合同法要から始まり、毎年四月中旬の日曜日に行っています。今年も多くの有縁の方たちにご参集いただきました。ご家族お揃いでおいでの方、また初めて法要に参加された方、「久しぶりに外出したわ。」と笑顔でお話ししてくださる方など人の集まる法要の大切さを感じました。

住職からは「今、いのちがあなたを生きている」という親鸞聖人七五〇回御遠忌法要のテーマを紹介しながら「いのち」についてお話しがありました。普通、「いのち」とは私のものだという意識が強いと思います。そうするとこの言葉は「いま、わたしがいのちを生きている」となるでしょう。そうではなくて、今「いのち」が「わたし」を「生きている」とはどういうことでしょうか。亡き方の言葉が、ともに過ごした時間が、わたしのいのちとなって今を生きている。また無量寿というはてなき仏さまの願いがわたしたちに届いている。

ご命日とは「いのちの日」と書きますが、亡き人の「いのち」をたずね、また私の「いのち」についてたずねる日でもあると思うのです。

今年はこんな花が咲いています。

前の秋からつぼみをつけ、寒い冬を越し、温かい日差しを感じて一斉に花が咲きます。命の輝きを花に例えることがありますが、境内の花の観察を続けてみると大地に抱かれた命の営みの尊さ、不思議さ、確かさを感じます。
わたしのいのちにも安心して咲く大地が必要なのだと教えられます。

徳泉寺報（とくせんじほう）

No. 6 6

発行
令和５年４月
発行元 徳 泉 寺
仙台市宮城野区
榴岡 3-10-3
(022)297-4248
tokusenji.sendai@gmail.com

ホームページ
tokusenji-sendai.com

真宗大谷派　徳泉寺

Instagram
tokusenji.sendai

TOKUSENJI.SENDAI